

# G空間情報とICTの連携による利活用イメージ等 に関する提案募集の結果について

---

1. 意見募集の概要
2. 主な将来の利活用イメージ
3. 提出意見(一覧)

## 1. 意見募集の趣旨

G空間×ICT推進会議における検討に活用するため、G空間情報とICTの連携の利活用イメージ等について広く意見を募集。

## 2. 意見募集の内容

- (1) G空間情報とICTの連携によって解決すべき課題
- (2) 課題に係るG空間情報とICTの連携による利活用イメージ
- (3) 利活用イメージの実現に係る問題点
- (4) 問題点解決のための方策

## 3. 意見募集期間

平成25年3月7日（木）～平成25年3月21日（木）

## 4. 意見募集の結果

37者から53件の意見提出（団体30者46件、個人7者7件）

## 2. 主な将来の利活用イメージ①

- G空間情報を活用したスマートシティや高齢者・障害者の移動支援、3Dmapによる避難経路策定等  
(アイサンテクノロジー株式会社)
- GISユニットと地名辞典を利用した行政情報とG空間情報の連携による通学、福祉サービス(平常時)及び救護・救援活動(災害時)(一般財団法人全国地域情報化推進協会 技術専門委員会 GISワーキンググループ)
- 海洋観光及び環境保全支援のための海洋地理空間情報の可視化(一般財団法人ニューメディア開発協会)
- GIS機能を追加した番号制度による行政の高度化・効率化等(浦安市)
- G空間情報とICTを活用した都市経営等及びG空間情報の地域のデータ放送における活用(株式会社価値総合研究所)
- 防災担当者による避難計画検証や住民の避難訓練、発災時の危機管理(株式会社構造計画研究所)
- 住民参加型の都市経営促進、観光資源化、地域学習推進(株式会社自治体ドットコム)
- 事前復興データベースを活用した災害に強いまちづくりの推進(株式会社パスコ)
- スマートフォンとV-LOWマルチメディア放送等による防災マイクロメディアサービス(株式会社パスコ)
- 位置情報に基づく的確な災害情報・避難情報伝達、被害調査作業の迅速化・負担軽減(株式会社日立製作所)
- 防災・減災情報配信センターの構築による避難支援、現場作業支援等(株式会社日立製作所)
- 地番・住所DB共有による行政サービスの効率化・高度化(株式会社三菱総合研究所)
- ソーシャルメディアとの連携による災害・防災情報の鮮度向上、災害時の自動・自律・安全移動支援等  
(株式会社メディアプラットフォームラボ)
- 九州G空間情報管理・分析センターの構築、災害対応シミュレーション等(九州大学大学院工学研究院)
- G空間情報の災害対策(赤潮対策、有害鳥獣対策)、安心・安全、業務効率化等(熊本県天草市)
- コンベンションセンターの活性化と防災・減災機能強化(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科)
- G空間情報とICTの連携モデル事業(防災情報発信、地域見守り支援、スマートデバイス取得情報のリアルタイム分析、等)  
(国際航業株式会社)
- 保健、医療、介護・福祉の包括サービスを等実現するためのシームレスな測位環境の構築  
(自治医科大学、gコンテンツ流通推進協議会)
- 多様かつ大量のG空間情報の流通による自治体・民間のコスト負担軽減・サービスの高度化等  
(社会基盤情報流通推進協議会)

## 2. 主な将来の利活用イメージ②

- 観光産業と地域活性化、帰宅困難者数のリアルタイム推計、災害時応援協定に基づいた在庫情報共有  
(ソフトバンクBB株式会社、ソフトバンクテレコム株式会社、ソフトバンクモバイル株式会社)
- 津波等避難ナビシステム(「デジタル皆助ナビ」)(東京工科大学)
- 大規模災害時の人の流動データの共有による二次災害の低減(東京大学空間情報科学センター)
- 限定区画(圃場等)での移動体駆動制御等による作業者の負担軽減(東京大学空間情報科学研究センター)
- ICTを活用した革新的な耐震診断の普及、ハザード認知等(特定非営利活動法人グローバル・コロキウム)
- 防災教育の充実、実効性の高い地域防災計画の立案、防災情報共有システムの開発、自治体防災支援システムの導入による総合的な災害マネジメント等(特定非営利活動法人グローバル・コロキウム)
- 「レジリエントシティ・センター」の設置による国土強靱化とスマートシティ化(特定非営利活動法人グローバル・コロキウム)
- G空間線量環境マップの構築と復興支援員コーディネーターによる原子力被災地の復旧・復興支援  
(特定非営利活動法人グローバル・コロキウム、一般社団法人南相馬除染研究所)
- 飛行体が撮影した高解像映像の閲覧による観光資源発展(特定非営利活動法人地域ICT研究開発事業共同体)
- 対災害情報分析システムによる避難、救援の効率化  
(独立行政法人情報通信研究機構(NICT)ユニバーサルコミュニケーション研究所(UCRI))
- 輻輳海域における海難事故防止等、港湾、漁業、外洋におけるG空間×ICT利活用(「ブルー・イノベーション」)  
(富士通株式会社)
- ICT水産業確立に向けたG空間情報活用システムの構築と次世代スマート水産業の確立  
(北海道大学大学院水産科学研究院)
- 地域住民による災害情報通知と迅速な回復、情報の共有(泰阜村)
- 屋内・地下街におけるテナント・イベント場所案内(平常時)と避難誘導支援(災害時)(立命館大学情報理工学部)
- G空間情報を活用した交通弱者の利便性向上、リコメンサービ、避難誘導等(個人)
- 買物弱者に対する買物支援対策、見守り・安否確認(個人)
- G空間を活用した感染症拡大防止(個人)
- 遠隔地からの農作物育成・配達(個人)
- G空間を活用した環境汚染度情報の提供(個人)